

市民のオアシス、まちなか賑わい広場

中心街に生まれた広場

『まちなか』という言葉から、どんな光景を想像しますか？

マチの中心部、人々が通りを行き来し、個性的なお店が並ぶ町並み、ショールームやショップ。人が集まる場所に笑顔が広がり、文化や芸術が生まれ、そのマチの気風が醸し出される場所。

郊外に大型店の出店が相次ぎ、中心市街地の空洞化に、多くの市民が心を痛めていた平成22年、金市館留萌ビルを拠点とする『まちなか賑わい広場』が誕生しました。

オープン以来、市民が求める商店街の姿を目指し、イベントを通じて魅力ある商店街、人々が気軽に集える場所づくりに取り組んできました。留萌の元気を、日々の暮らしの中から創り出す交流広場となっています。

現在、職員3名で各種イベント、施設の管理運営を行っています。

四季を彩る行事

ゴールデンウィークの目玉は『まちなか子供縁日』。ちびっこ達のはちきれそうな笑顔が春のイベントを盛り上げます。

夏には、涼しい店内でゆつくりとくつろいでもらおうと、写真展やカルチャー教室を開催しています。今年初の試みで『夏休み工作教室』を開催しました。

秋、高校生によるお茶会は、訪れる高齢者と若者との交流の機会となっています。今年も小学生による『農産物バザー』を開催し、収穫から販売までを行い、お客を呼び込む子供達の声が、街角に響きました。

冬の楽しみは、スイーツバイキングやクリスマスコンサート、商店街連合会大売り出しの抽選も行われます。「オープンから3年が経ち、市民にも認知され、訪れる人足も伸びています」とスタッフの小幡光男さん。

『まちなか賑わい広場』は、市民のオアシスです。



まちなか子供縁日には多くの家族連れで賑わいをみせる



工作教室では地域おこし協力隊員が先生です



市民と商店街をつなぐスタッフ

留萌市商店街振興組合連合会
商店街にぎわい広場

営業：10:00～18:30

定休：水曜日

問合せ：るもいプラザ1F

錦町2丁目

☎ 56-4382